

作業の中にある**共通の話題**が大事

企業支援員：コミュニケーションについてすごく大事な部分だと思うのですが、彼は私たちセンターでの面談では会話は受け身なのですが、どのような会話をしていますか？
齋藤氏：彼は時事ネタが好きなので、基本的に会話は弾みます。(笑) 同じ仕事をしていて、いちごの調子はいつも違うんですが、収穫の時に「今日どうだった?」と聞いています。水分の量や肥料の量でヘタが取れたり、柔らかいなど変化があり、彼はとても感じとれる方です。共通の話題が作業の中にあるので、大事にしています



「対」だからできることがある

企業支援員：お互いにストレスフリーな環境ですね。
齋藤氏：話したくなったら私から寄っていきます。人恋しくなる時があるので(笑) たぶん彼は仕事進まないなど、集中したいのにうるさいと思う時もあるかもしれないです(笑)
企業支援員：企業では適度な距離感のコミュニケーションについて悩んでいる場合がありますが、どうですか
齋藤氏：「対」でできていることもあると思いますが、彼自身、脱線し過ぎない感覚を持っている方で、お互い会話が盛り上がり手が止まった時も、作業が遅れないよう、気づいて仕事に戻ってくれる方です。彼の性格的な部分もあると思いますが、ずっと話してしまう方もいらっしゃるのでは、彼のそのようなところはとてもいいです。



お願いする作業を**明確**に

企業支援員：作業についてどう伝えていきますか？
齋藤氏：作業を切り取っています。雇う側として同じ人件費であればこれもとお願いしたいのはあると思うんですが、収穫が一番なので、空いた時間で違う作業をお願いしそれぞれ分けています。
企業支援員：しっかり伝えることを大切にしているのですね
齋藤氏：基本的にやる作業を一つ一つ説明しています。また、感覚ではなく、なぜやるのか。彼の中のピースがカチッとハマった時に、納得すれば簡単にできるので、そういった教え方を意識しています。今では言われなくても朝きて自分で準備して動いてやってくれています。あとは彼が考えてやっていますよ。
企業支援員：一つ一つに納得することで、自主性も成長しているんですね。

自主性を**コミュニケーション**で作る

企業支援員：齋藤さんのお話を伺っていて、働く方が自主的に仕事に取り組んでいると感じるのですが、自主性の育て方など、そこにたどり着くために考えていることなどあるのでしょうか。
齋藤氏：とりあえずお金をもらえればいいっていう感覚の方の働き方と彼のように興味をもっている方との仕事の作り方は別だと考えています。それは働く方とのコミュニケーションで作っていくことだと思います。
企業支援員：それは働く方に寄りそいコミュニケーションを取ることで自主性が育ち、職場環境がよいものになっているんですね。

to be
continued

人材に関するご相談、見学・就労体験など
お気軽にご連絡ください!

【ひろさき生活・仕事応援センター】

0172-36-3776(齊藤・宮本)

次回へ**続**きます! 年明け発行予定

YOSHIO FARM

～従業員に寄り添う仕事の環境づくり～

取材：YOSHIO FARM 園地オーナー 齋藤良彦氏



YOSHIO FARM

園地オーナー
齋藤 良彦氏

今回は齋藤氏に人材育成や働きやすい環境作りなど園地にてインタビューさせていただきました!

Aさんの就職までの道のり

Aさんは2020年5月に園地を見学、1日3時間の就労体験を3日間行い、6月から就労を開始、2021年2年目となりました。

できる範囲で100点の仕事

企業支援員:2年目となるAさんの仕事の様子はいかがですか?

齋藤氏:去年は初めての作業で基本的にはずっと一緒に作業して、例えば今やっている葉の管理作業も必ず向かい合って作業していたんですが、ある程度要領を得てしっかり伝えることで彼も見えてきたものがあり、彼のできる範囲のことをお願いしている状態。あれもこれもだと進まなくなってしまってお互いに良くないので、彼のできる簡単なこと、色の違う葉を取ってもらい、ほかのことを私が作業する。収穫をやってもらえれば100点、プラスの作業をしてもらえれば150点です。

集中して作業できるように

企業支援員:人によって向き不向きがあると思いますが、一人立ちのタイミングについてどう判断されていますか?

齋藤氏:いろんな作業をしてもらったんですが、彼もやることとその時々で変わるとすべて初めてで、戸惑ってしまうと思います。そうなのであれば一つのこと集中して専念してもらってその作業をうまくしてもらえれば良いと考えています。



人として見えてきたものがある

齋藤氏:基本的に農業に正解はないので、失敗はだれでもあります。葉っぱをかき分けると収穫では必ずこぼれがあって、収穫時期が過ぎてしまったものが出てきます。気にしすぎても進まず良くないので、仕方ないとお互いに割り切って、彼のペースでやってもらってます。一年見えてきて、彼はスマホをいじったり時間を調整することは、絶対ないといった、人として見えてきたものがあります。